

「富国有徳の理想郷—しずおか」を目指して・・・

第 25 号

県庁のしごとと改革ニュース



「速く」、「ムダなく」、「いい仕事」

26年度の「ひとり1改革運動」の取組成果を御紹介します！

静岡県では、職員一人ひとりが自ら考え、身近なところから改革・改善を実践する「ひとり1改革運動」に取り組んでいます。

この運動は平成10年度から始まり、これまでの取組件数は約19万8千件となり、経費の節減や時間の節約、県民サービスの向上に大きな成果を上げています。

平成26年度 16,795 件の取組効果

34億7380万円 + 22人 + 8,476件

節約と経済効果

10億2,950万円の事務経費を節減

(例) 県庁内の電子複写機の一括調達で、スケールメリットの実現により1,360万円節減。

4万2,789時間の事務時間を節約 (職員22人相当)

(例) 学校に対し実施している調査の見直しを組織全体で取り組み、教職員の事務負担を軽減。

24億4,430万円の経済効果が発生

(例) 未利用の県有施設等を活用し、民間事業者による太陽光発電事業の導入を促進。設備投資による経済効果は、8億1,000万円。

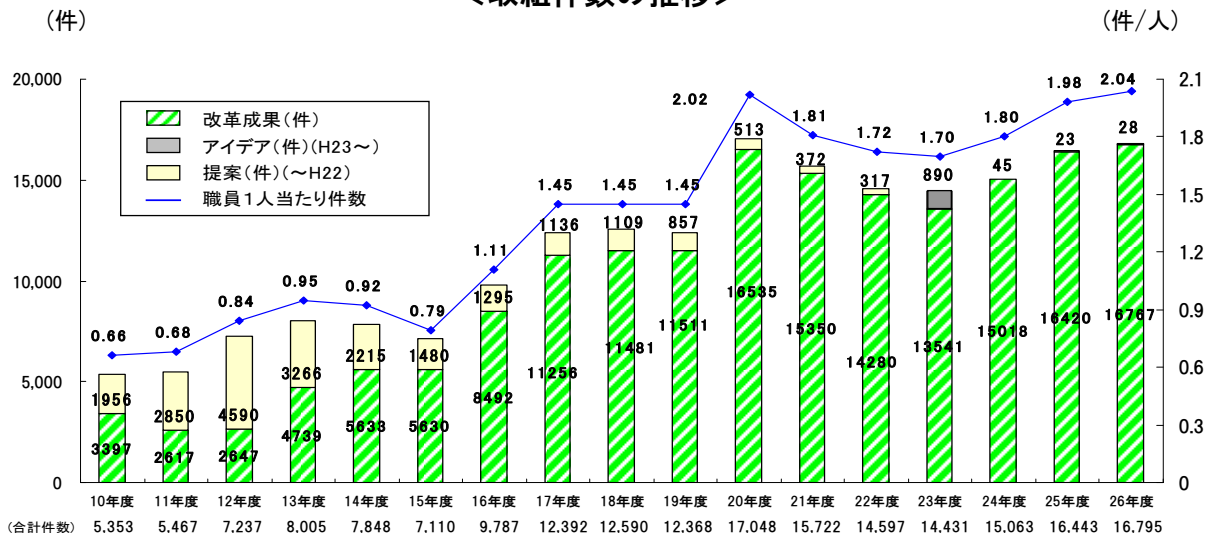
県民満足度の向上

県民の皆様の満足度が向上した取組 **8,476件**

(例) ・現場の要望を具現化した介護施設職場体験冊子とHPを作成し、高校生の職場体験が実現。
・災害時に想定されるペット同行避難に備えるため、動物ボランティアなど関係団体と連携し、避難訓練を実施。

※ 効果額等は、取組成果のひとつの目安として、見込みも含めた各所属の自己申告値を集計したものです。

＜取組件数の推移＞



※以下の取組所属名は平成 26 年度のものです。

最優秀賞 <会場奨励賞ほか 2 部門大賞受賞>

危険ドラッグ撲滅大作戦

健康福祉部薬事課
薬物対策班、薬事企画班、薬事審査班

<連携・協働、仕事の進め方の見直し大賞>

危険ドラッグは、法の網をすり抜けて販売されるため、その販売店を地域から排除することは困難でした。

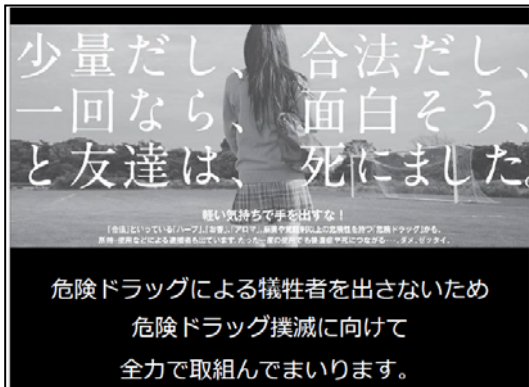
そこで、店舗のすべてが貸店舗で営業していることに着目し、「危険ドラッグ販売のためには物件を貸さない」旨の協力協定を不動産業界団体と締結しました。この協定締結は、全国初の危険ドラッグ対策として全国から大きく注目されました。

その結果、既存販売店の営業環境にダメージを与えて閉店に追い込むと同時に、新規出店を抑え込むことができました。



販売店撲滅に向けた協定

<広報グランプリ大賞>



危険ドラッグを撲滅するには、社会全体で問題解決を図る必要があります、広報や啓蒙が重要です。

そこで、パブリシティを中心とした広報活動を積極的に行い、県民の危険ドラッグ撲滅意識の高揚を図り、危険ドラッグを販売・購入しにくい環境づくりを行いました。

その結果、行政だけでなく、関係団体や地域などが一丸となった危険ドラッグ対策が可能となり、県内の危険ドラッグ販売店(6店)すべてを閉店に追い込み、危険ドラッグによる事件・事故を激減させることができました。

優秀賞 <みんなで取組大賞>

建設業許可事務等パワーアップ大作戦

交通基盤部建設業課 許可班

業務を見直し、効率的に仕事に取り組み、審査のプロとして業務に精通した職員を育成するための体制作りが課題でした。

そこで、「建設業許可事務等パワーアップ大作戦」を企画し、職員の育成、時間外勤務の縮減など 10 項目の業務改善に取り組む作戦書を作成し、強い組織を作る取組を実践しました。

その結果、審査所要平均日数を6割に削減するなど、申請者の満足度向上が図られました。



業務改善のための作戦書

優良賞<IT活用、見える化・情報発信大賞>

企画広報部広報課 企画班

起承転結の4話で1つの課をSNSで掘り下げて情報発信

若年層の県政への関心度を高めるため平成24年に開始したFacebook「静岡未来」は、若者目線の記事が受け、いいね！は日々増えているが、発信内容は単発のイベント情報を中心としたため、県政への理解促進の面で課題がありました。

そこで、大学生が起承転結の4話で1所属を掘り下げる企画を試みました。初回の広報課では、「起」で課の概要、「承」で取材等具体的な業務、「転」で業務上の苦勞、「結」で課長が総括することになりました。

その結果、最終話で閲覧者数がピーク(2,424人)に達するなど、効果的に情報を発信することができました。



情報発信のイメージ

<ユニバーサルデザイン大賞>

教育委員会事務局財務課 施設担当

ユニバーサルデザインに配慮した新設校の建設

知的障害を持つ生徒が利用する特別支援学校の建設に当たり、2階建て3棟構成の校舎を計画したところ、3棟とも同規模で類似の教室が並ぶ配置となったため、校舎内で現在位置が分からなくなる恐れが生じました。

そこで、棟ごとに内装を色分けし、室名表示にはイラストを採用しました。

これにより、障害を持つ生徒にも、視覚的、直感的に場所や部屋の用途が認識できるようになりました。



<県民サービス向上大賞>

沼津土木事務所工事第1課 工事第2班

スマートフォンの地図アプリを利用した渋滞対策

道路工事において渋滞末尾が工事現場から見通せないため渋滞の片方が長くなり、利用者に迷惑をかけ、苦情の原因となっていました。

そこで、スマートフォンの無料地図アプリの渋滞状況表示機能を利用し、現地の交通整理員へ指示を行うことにしました。

その結果、渋滞の偏りの解消と、極端な通過待ちを減らすことができました。



工事現場へ渋滞情報を伝達

<安全・安心・危機管理大賞>

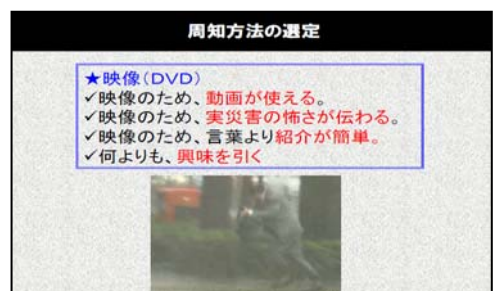
西部危機管理局地域支援課 地域支援班

あなたと家族の身をまもるために～防災情報を活用しよう～

近年、水害や土砂災害が多発する中で、災害情報や避難方法の理解・把握が適切に行われていない課題があります。

そこで、県民自らがホームページなどで発信される防災情報を入手し、適切な避難行動がとれるよう、情報の入手方法を動画で丁寧に紹介したDVDを作成し、配布しました。

その結果、防災会等を通じて防災情報の入手の理解が進み、スマートフォン等の利用によって、避難行動の啓発が容易になりました。



映像による啓発効果

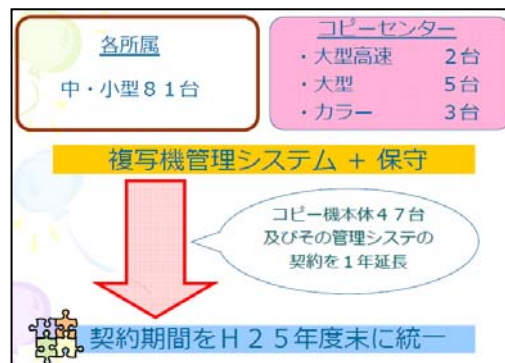
<予算節減努力大賞>

県庁内の電子複写機の一括調達

出納局用度課 印刷班

県庁内の各部局やコピーセンターに設置されている電子複写機は多くの種類があり、さらにそれに付随する管理システム、保守契約など、数多くの契約が別々に行われていました。

そこで、新たな管理システムの構築をきっかけに、契約更新を1年間延長。多くの電子複写機の更新時期を25年末に統一することで契約を一括化し、スケールメリットの実現を図りました。その結果、1,360万円の経費削減につながりました。(27年1月末現在前年度比)



一括契約への変更

<やめる・へらす・かえる大賞>

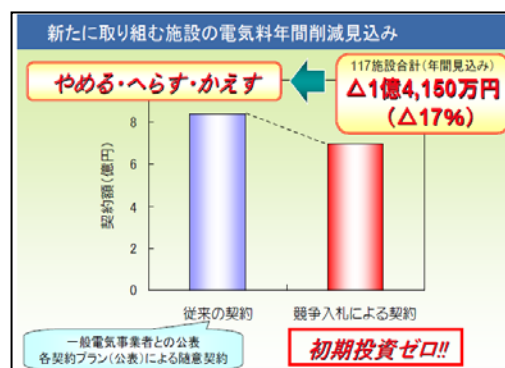
電力調達入札の拡大、他所属とノウハウを共有

経営管理部管財課 他連携5所属

ファシリティマネジメントの一環として県有施設の維持管理経費を分析した結果、光熱水費の7割が電気代であることが分かりました。電力の契約方法に着目し、電力調達入札の実施施設を拡大することにしました。

そこで、これまで県庁などで入札実績のある管財課のノウハウを経済産業部、教育委員会、県警と共有、協働し、合計117施設に導入しました。

結果として、年間で約1億4,000万円(約17%)の電気料を節減できる見込みとなっています。



電気料の削減効果

<県民負担の軽減・規制緩和大賞>

くらし・環境部建築安全推進課 建築安全班 建築に不可欠な道路情報をインターネットで公開

くらし・環境部建築安全推進課 建築安全班

建築基準法上の道路種別は、建築や不動産売買等をする上で必要不可欠な情報であるにも関わらず、行政庁の窓口でしか、その情報を得ることができませんでした。

そこで、道路調査・判定の結果をWEB(県GISサイト)に公開することにしました。

その結果、誰でもWEBから道路情報を確認できるようになりました。利便性の向上だけでなく、職員の労務の軽減にもつながりました。



WEB公開の道路情報

静岡県 経営管理部 行政改革課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 電話：054-221-2912 FAX：054-221-2750
E-mail gyoukaku@pref.shizuoka.lg.jp <http://www.pref.shizuoka.jp/soumu/so-030a/>

平成27年4月発行